

ゲーム通じ絆深めよう

八戸東中でチームビルディング体験会

八学大ラグビー部員講師に

八戸

開かれ、同校の1年生132人がラグビーボールやフラフープを使ったゲームを通して、仲間の絆を深めた。

立東中(齋藤浩校長)で 以前に長者中で実施し



フラフープを床に降ろすゲームに挑戦する生徒ら

た際に担当した1学年主任の小山内義人さんが、転勤先の八戸東中でも行いたいーとの思いから夏休みの登校日に開催。同部の山下祐史ヘッドコーチや部員10人らが講師を務めた。

体験会では、10人で一緒に人さし指で掲げたフラフープを床に降ろすまでの秒数や、円になってボールを連続で横へパスできた回数をクラス対抗で競った。問題を解決するため、クラスごとで話し合うチームトークも実践。山下さんは「失敗した時に『次頑張ろう』と声をかけることも大事」と、思いやりの大切さを説いていた。

市内のラグビーチームに所属する同校の森山昊美さん(13)は「学校生活でもチームでも、周りの人を責めず、信頼し合って生活していきたい」と笑顔で話した。

(桑田友人)